

1.周辺の集落景観について

① 長門湯本温泉周辺の集落景観は美しい？

○：23票
×：0票

■長門湯本温泉周辺の景観について

長門湯本温泉周辺には、「母屋」と「離れ」(若夫婦の住まいや納屋)からなる赤瓦の美しい民家が多くあります。全ての方が「そのような民家が創る景観は美しい」と賛成されました。

母屋と離れ
からなる民家

2.長門湯本温泉らしい「屋根」について

② 赤瓦の屋根並みは長門湯本温泉らしい？

○：14票
×：9票

○の方の意見

- 山あいの緑の中に赤色が映えて良い。
- 石州瓦は雪が滑りやすい性質がある。焼成温度が高い為、硬くて高価。山陰地方に多い。
- ローカルな町なので赤瓦にしないと田舎から外れる気がする。温泉街としてローカルな町の特徴を出していく方が良い。

×の方の意見

- 赤瓦か黒瓦かは、好みによる。
- 赤瓦は昔の農家のイメージ。長門湯本温泉らしいかと言われると違う気がする。
- 赤瓦もベタとした色彩や素材の赤瓦だと魅力がない。

※1 ③ 入母屋の黒瓦の建物は長門湯本温泉らしい？

○：12票
×：11票

長門湯本温泉の入母屋・黒瓦の建物例

※1 入母屋：屋根形式の1つ。③の写真の様な切妻造りの四方に庇屋根を付けた形。

○の方の意見

- 大田邸は、佐賀の炭鉱会社の山口氏が田んぼの管理をする為の別荘として建設。中は昭和初期の最高級材料を使用している。
- 玄関の位置を変えてはいるが、建設当初の設えも残っており文化財級だと思う。
- 建設当時から黒瓦であり、これもまた長門湯本らしさである。
- 黒瓦は、泥瓦と釉薬瓦の二種類があるが、大田邸は釉薬瓦でツヤのある仕上り。焼く時に3割が割れてしまう高級な材料である。
- セメント瓦は耐久性に課題がある。

④ 瓦であれば何色でも長門湯本温泉らしい？

○：0票
×：23票

※2 ⑤ 切妻黒瓦の建物は長門湯本温泉らしい？



長門湯本温泉にある切妻黒瓦の建物例

聞かれた意見

- 萩焼の窯元の建物なので、温泉街である長門湯本温泉らしい雰囲気ではないが、陶芸の歴史がある三ノ瀬らしい建物だと思う。
- 切妻屋根が6割、入母屋屋根が3割と少なくなっているが入母屋屋根は魅力的。
- 入母屋でなくとも勾配屋根であれば良いのではないかと。

三ノ瀬の
黒瓦・切妻の建物例

※3 ⑥ 陸屋根の建物は長門湯本温泉に似合う？

○：0票
×：23票

陸屋根の建物例

※2 切妻：屋根形式の1つ。⑤の写真の様な山形の屋根
※3 陸屋根：屋根形式の1つ。勾配のない平らな屋根。

⑦ ちょっと難しい！長門湯本温泉に似合う？

○：1票
×：22票

○の方の意見

- 赤瓦を使っていて、勾配屋根にもなっているから、これくらいなら許せるかなと思う。

×の方の意見

- 新興住宅地のような建物。
- 長門湯本温泉は中山間地の雰囲気似合う。この建物は住宅地の雰囲気がして合わない。
- デザインが洋風モダンすぎる。
- 屋根の勾配が急なため、長門湯本温泉の町並みに合わない。

⑧ 湯本、門前、三ノ瀬で
屋根の考え方に違いはある？

門前の黒瓦・入母屋の建物例

聞かれた意見

- 湯本は赤瓦で地域性を出して、温泉街の雰囲気を創り出した方が良い。
- 温泉街の雰囲気を門前や三ノ瀬が持っていないと良い。
- 三ノ瀬や門前は湯本とは違う。
- 三ノ瀬は窯元の建物の様な雰囲気が合う。
- 黒瓦の建物の雰囲気が門前に合う。

■「屋根」について

現状、湯本、門前、三ノ瀬の住宅や店舗の約9割が瓦屋根です。今後も瓦屋根が基本といえます。その際、長門湯本温泉らしい町並みに合った色彩を目指すことも重要です。中でも、湯本は温泉街の中心であり、長門湯本本来の赤瓦を目指すことも考えられます。

屋根の形態については、現状9割が勾配屋根です。今後も勾配屋根が基本といえます。入母屋屋根の建物は3割近くまで減少していますが、重要な景観要素であると言えます。屋根の色彩、素材、形態、勾配など、様々な観点から長門湯本温泉らしい町並みを守り育てていきましょう。

※4 吹付：壁などの仕上げの一種。仕上げ材を機材を用いて吹付け、付着させる施工方法。

3.長門湯本温泉らしい「外壁」について

⑨ 板張りの建物は長門湯本温泉らしい？

○：23票
×：0票

長門湯本温泉の板張りの建物例

⑩ 木組みと土壁の外壁

長門湯本温泉(三ノ瀬)らしい？

○：23票
×：0票

長門湯本温泉の木組みと土壁の建物例

※4 ⑪ タイルと吹付の外壁 長門湯本温泉らしい？

○の方の意見

- 比較的、多いので○だと思った
- 家を建てる時、防火上板張りはだめだと言われ、自宅をタイル張りにした経緯がある

×の方の意見

- 風情がなく、寂しいかなと思った

湯本地区(準防火地域)で
外壁に板を張る工夫について
設計者・施工者ワークショップ
で議論していきます!!

○：3票
×：20票

※5 ⑫ サイディングの外壁 長門湯本温泉に似合う？

○：0票
×：23票

⑬ サイディングの外壁+木組み

長門湯本温泉に似合う？

○：22票
×：1票

準防火地域で外壁を板張りにした例

※5 サイディング：ボード状に仕上げられた既製品の外壁材の総称。金属系・プラスチック系などがある

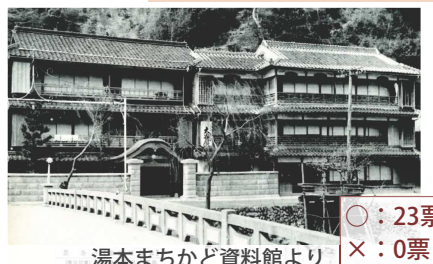
■「外壁」について

現状、湯本、門前、三ノ瀬の住宅や店舗の約8割が板張りです。木材はどんな時代にも確保でき、部分的な補修もできる優れた材料です。また、多くの人が長門湯本温泉らしさを感じる材料です。今後も板張りの外壁の町並みを目指していくことが望まれます。

3地区のうち湯本地区だけは、都市計画で準防火地域の指定が掛かっています。近年は、施工の工夫で準防火地域でも外壁に木材を活用することが可能となってきています。設計者・施工者WSでその方法を整理していきます。三ノ瀬などでは、木組みと土壁の真壁の外壁なども見られます。このような自然素材を活用した外壁も町並みに調和した外壁です。自然素材の外壁で長門湯本温泉らしい町並みを守り育てていきましょう。

4.長門湯本温泉らしい「開口部」について

⑭ 2階から川を眺めるのが湯本温泉の魅力？

○：23票
×：0票※6 ⑮ 水平に連続した窓や高欄は
今も長門湯本温泉らしい？○：23票
×：0票

湯本まちかど資料館より

■「開口部」について

音信川が流れる長門湯本温泉において、2階より上の窓から川を眺めることは今でも湯本地区の魅力となっています。その結果として、2階の水平に連続する窓が長門湯本温泉の町並みの特徴となっています。また、2階の開口部を彩る木製の高欄や手摺は、長門湯本温泉の風情を演出する重要な要素となっています。木製の高欄や手摺には防火の制限がありません。高欄や手摺、窓枠などで、温泉街らしい風情を演出しましょう。

5.長門湯本温泉らしい「店構え」について

⑯ 木製のショーウィンドウや格子の店構え
植木等の表出 長門湯本温泉らしい？

×の方の意見

- 旅館は旅館、商店は商店というそれぞれの事情で店構えを考えてきたので、長門湯本温泉らしい統一感で進んできてはいない。
- 今までは景観条例もなく知識もなかったのだから、景観上は綺麗だと思える建物も、長門湯本温泉の商店の店構えとしての設えを問われると判断しにくい。

○：16票
×：7票

※6 高欄：日本建築で縁側や廊下につく手摺

⑰ 設備機器の溢れだし
良い？○：0票
×：23票⑱ 自動販売機への
配慮、良い？○：23票
×：0票

⑲ 玄関周りや軒先の演出、良い？

○：22票
×：1票玄関周りの
演出例⑳ お面を被った商店
人を迎え入れる店構え？○：0票
×：23票

㉑ 人を迎え入れる店構えになっている？

○：14票
×：9票

店舗の例

- デッキやベンチ、植木や木製建具、おしゃれな看板、下屋庇など店先空間のちょっとした演出で、人々が自然と憩える空間を生み出している。

㉒ リノベーションを進めている物件は
沿道への配慮はどうなっている？人を迎え入れるデッキを玄関としてつくり
川へ自然に繋がる動線を計画している

■「店構え」について

お面のような看板の後ろに長門湯本温泉らしい建物が隠れている店舗が多くみられます。また、店先空間のちょっとした配慮で人が心地よく憩える場に変えることができます。人を迎える店構えに演出していきましょう。

お面を外すと長門湯本
温泉らしい建物が出て
きそう。

※写真は個人宅を評価するものでなく、あくまでイメージとしての掲載です。